

科目名	キャリアプランニング 1							年度	2024
英語科目名	Career Planning 1							学期	前期
学科・学年	音響芸術科 1 年次	必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	三好敏之	教員の実務経験		有	実務経験の職種		エンジニア		
【科目の目的】 職業適性を高め、就職活動の準備を整え、業界の知識を獲得とします。									
【科目の概要】 就職・進路に向けて準備を行います。									
【到達目標】 A. 本学園オリジナル履歴書の自己PRがしっかり埋められる B. 適時に就職活動のスタートが切れる準備を整えられる C. 業界の研究・企業の研究を進めて知識を得ることができる									
【授業の注意点】 評価基準はルーブリック評価に基づき、授業への参加姿勢と最終課題によって評価する。専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考え方から、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。授業中の態度（居眠り、私語など）にも厳しく対応する。職業訓練とは、2年後の自分自身の生きる糧・力を得るものであり、自分自身のこととして主体的な考え方をもち、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	履歴書の自己PR欄・業界への志望動機が埋められる	履歴書の自己PR欄が埋められる	履歴書の自己PR欄がある程度書ける	履歴書の自己PR欄へ箇条書きならできる	履歴書の自己PR欄が書けない				
到達目標 B	インターンシップに参加し、求人サイトの登録や過去の求人票について分析している	求人サイトの登録や過去の求人票について分析している	2か所以上の求人サイトへの登録をしている	求人サイトの登録はしている	求人サイトへの登録をしていない				
到達目標 C	音響業界・音楽業界の様々な仕事について志望理由も語れる	音響業界・音楽業界の様々な仕事について語れる	音響業界・音楽業界の様々な仕事について調べている	自分の志望する仕事について語れる	仕事についての調べができていない				
【教科書】 適時プリントを配布する。									
【参考資料】 キャリアサポートブック									
【成績の評価方法・評価基準】 評価基準はルーブリック評価に基づいて行う。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		キャリアプランニング 1			年度	2024
英語表記		Career Planning 1			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	社会人としてのネットマナー	相手に対しての思いやりと丁寧な対応	1 締切を守る	時間感覚・締め切り意識できる	3	
			2 感謝のことば	あいさつ文を作成できる		
			3 オンライン対応	オンラインでも目の前として対応できる		
2	履歴書の基本	履歴書の内容について準備を始める	1 履歴書の種類	就活用履歴書の特徴を把握する	3	
			2 履歴書の構成	過去・現在・未来を書くことができる		
			3 履歴書内容の準備	専門学校時代を充実させていく		
3	コミュニケーションの基本	ずば抜けたコミュニケーションは必要ない。適度であればOK	1 自分から行動	進路は自分で動かない限り決まらない	3	
			2 コミュニケーション	適度なコミュニケーション力の必要性について理解する		
			3 対人意識	仕事のパートナーとしての対人意識ができる		
4	就活はスタートしている	今すぐ準備できることを知る	1 就活スタート	入学時から就活は始まっていることを把握する	3	
			2 求人サイト	早めのサイト登録・情報収集ができる		
			3 社会人スキル	インターンシップについて知る		
5	自己紹介・自己PR	自分の事を相手にわかりやすく伝える	1 自己分析	自己紹介の準備ができる	3	
			2 人前で話す	緊張の中でも話をする事ができる		
			3 1～2分の内容	必要な内容を整理する		
6	企業側の視点	相手にどういった自分を見せていくか	1 自分の価値観	相手に伝えるべき自分の価値観を把握する	3	
			2 社長の視点	企業が求める人材の価値観を把握する		
			3 日常の話題	マイクチェックでも使える話題を集める		
7	職種の理解	職種とそこに関わる人々を調べる	1 仕事への意識	仕事への熱意を伝える	3	
			2 制作者クレジット	仕事の種類と制作者への敬意を持つことができる		
			3 目標とする人物	自分が目指す職業の尊敬すべき人を知る		
8	企業の視点 2	学生意識と企業意識の違い	1 言ってはいけない	面接時のNG発言を知る	3	
			2 企業の視点	仕事に必要な無いものは省く視点を意識できる		
			3 楽観的に行動	重く考えすぎず、まず行動ができる		
9	企業の視点3	企業側のチェックポイント	1 言ってはいけない 2	NG発言の逆転の発想ができる	3	
			2 一般常識について	一般常識の必要性を理解する		
			3 WEB試験	WEB試験の実際を知る		
10	職種の調べ	関連職種についても知る	1 仕事のブライド	自分の仕事に自信を持つことができる	3	
			2 仕事の種類	専攻にこだわらず様々な仕事へ目を向ける		
			3 ポートフォリオ	実習・授業作品をまとめることができる		
11	夏に向けての進路準備	実際の行動へ進める	1 履歴書への取り掛かり	履歴書の下書きを作成できる	3	
			2 企業へのコンタクト	夏のインターン調べる		
			3 「なるとかなる」は成らない	自分で行動しない限りは進まないことを知る		
12	なぜ？を整理する	自分の確認と会社への説明	1 なぜ就職するのか	その職種を選ぶ理由の確認	3	
			2 なぜこの業界なのか	音響関連に就職したい理由の確認		
			3 なぜこの会社なのか	相手の企業を調べる必要性を理解する		
13	音響業界へ関心度	音響業界の情報収集	1 音と業界に注目	日頃から音の話題にも注目する	3	
			2 音響関連の映画	音響関連に特化した映画なども見る		
			3 会社のホームページ	行きたい会社のHP・SNSをチェックする		
14	作品についての詳細	業界に対して興味の本気度を上げる	1 仕事の条件	仕事に対しての条件をまとめる	3	
			2 作品の詳細	作品の関係者・会社について調べる		
			3 作品との出会い	自分と作品とのエピソードをまとめる		
15	前期まとめ	就活のスタートを切る	1 自己PRの作成	履歴書の準備段階の確認ができる	3	
			2 業界内の仕事	業界研究の確認ができる		
			3 行きたい企業を調べる	企業研究の確認ができる		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等